

## 平成26年度 妙高市生活・総合部 活動報告

部長 小山 弘幸

### 1 研究主題 没頭・関連付け・主張形成を生み出す展開の工夫

### 2 研究の概要

- 4月23日（水）研究主題の検討、組織づくり、年間活動計画の検討
- 8月21日（木）講話：春日良樹様（前妙高市立新井北小学校長）  
講題：没頭・関連付け・主張形成を生み出す  
生活科と総合的な学習の時間における展開の工夫
- 11月11日（火）部員による実践発表と講師による指導（指導者：春日良樹様）

### 3 研究の実際

#### (1) 研究主題の設定

4月23日、新井ふれあい会館で生活・総合部員23名出席の下、今年度の研究主題を検討した。

今、学校教育に求められていることは学習意欲を喚起し確かな学力を育成することである。生活科や総合的な学習の時間においては、児童生徒が探究的な学習を進め、各教科等で習得した知識技能等を活用して問題解決学習をしていく。そこでは果敢に挑み問題を解決していく中で、学ぶ喜びを感じ意義を見いだす姿が期待できる。

しかし、そのためには活動に没頭すること、事象と事象を関連付けること、主張形成すること、こうした児童生徒の能力を引き出す支援が教師に求められることになるであろうと考え、標記の研究主題とした。

- #### (2) 8月21日、妙高市勤労者研修センターにおいて春日良樹様を講師に招き「没頭・関連付け・主張形成を生み出す生活科・総合的な学習の時間の展開」について講話を聴き、没頭・関連付け・主張形成を生み出す展開の在り方について研修を深めた。



- #### (3) 11月11日、部員一人一人が1実践レポートを持ち寄り、低学年部と中学年部・高学年部・中学校部の2グループに分かれ実践発表をした。実践発表の骨子は次のように整理される。（一部の紹介）

具体的な場面	教師の手立て	没頭する子どもの姿
野菜の栽培	○ 願いを生み出す場の設定 ・ 畑の名前 ・ 野良着の制作 ・ ピザパーティー 等 ○ 願いや考えの可視化 ・ カードに書いて提示 ○ できるだけ見守る	・ ネーミングへのこだわり ・ 「畑に行くぞ」等のやる気 ・ 「おばあちゃんみたいな野菜を作るんだ」と野菜作りに夢中になる。 ・ アブラムシがたくさん付いていると問題を発見する。

その後、実践発表から出された問題点について講師から指導を受け研修を深めた。

### 4 成果と課題

特に活動に没頭する子どもについては、具体的な場面と子どもの姿、それを引き出す教師の支援の関連が明らかになってきた。

関連付けや主張形成の支援について研修を深めることは今後の課題である。また、事象と事象を関連付け、総合テーマについての主張形成に不可欠な言語活動の根幹をなす「書くこと」について研修を深めていく必要性も課題として浮き彫りになってきた。